

清流

あしりべつ

発
行

清田地区町内会連合会
〒004-0841
清田区清田1条2丁目
TEL 883-7600
FAX 883-8057
発行責任者 牧野 晃



清田区の旧国道三六号 「あしりべつ桜並木通り」

清田区では、市民参加によるまちづくりを進めるため、様々な事業を行なっています。その中でも「旧国道三六号魅力アップ事業」は、旧国道の一部を桜並木や遊歩道スペースを活かして心地良く利用できることを目指し、平成二十二年九月に「やすらぎ歩行空間プラン」が策定されました。

二十三年度以降は、この空間の整備に合わせて歴史の再発掘などの検討を進め、また昨年十二月には桜が集中する区間の愛称を公募し「あしりべつ桜並木通り」と命名。

五月十一日には初めてのイベントとして「旧国道三六号・桜ウォーキング」が開催されました。コースは清田区役所前を出発、清田公園、旧国道三六号あしりべつ桜並木通り、国道入リ口折り返し、区役所前帰着の約四キロ。当日は高齢者を中心に百名以上が参加し、今年最後の桜を楽しみました。

今秋には国道の歴史を記した案内板を設置、九月十日を「旧道(キュードール)の日」として記念イベントを企画しています。

誰もが 「住みよい安心・ 安全なまち」を 目指して...



清田地区町内会連合会
会長 牧野 晃

四月の定例総会におきまして、事業・予算の承認を頂き、今年度がスタートしたところです。皆様方のご協力によりまして、課題の解決に鋭意努めて参りたいと存じます。

さて、一年をふり返って見ますと、昨年は未曾有の大災害の年でありました。三月十一日、東日本大地震と十メートルを超える大津波は多くの人命を奪い、三陸海岸や宮城の港町に壊滅的な被害をもたらしたことは、まだ記憶に新しいところであります。

日本中が被災された人々を思い、一日も早い復興を願った一年でした。

その貴重な経験から私たちが得た教訓は「絆」であり、思いやりとボランティアの心でありました。

絆とは語源的には、「馬・犬・たか等をつなぎとめる綱」のことであり、転じて、断とうとしても断ち切れない人間どうしの結びつきであります。

あつた年であつたと思います。

私たちが「住みよいまちづくり」として、今、取り組んでいる町内会活動福まち活動は、この絆や思いやりの心なくしては成立しない活動です。普段から人とのつながりを大切に活動した活動、一体感を醸成する活動を進めることが、如何に大切であるか再認識した次第であります。

それで、私たちが抱えている当面の課題は二点あります。

一つは、最近、新聞・TV等で大変問題になった高齢者や障がいのある方々の「孤独死を防ぐ活動」であります。これには多くの方々の日頃からの優しい目と、「福まち」の活動の一つである「見守り活動」を継続的に進めることが必要です。

二つは、災害時における高齢者や障がいのある方々への支援活動です。

震度六強を超える大地震が発生し「いざ、避難を」という時の地域の支え合い、避難支援の体制づくりが、今、喫緊の課題であります。

先進地の実践に学び、町内会の皆様方の強い絆と思いやりの心、ボランティアの心を持つて、この避難支援の問題に対処することが、今、強く求められております。

以上、当面の課題を二つ申し上げましたが、いわば、これは「住みよい安心・安全なまちづくり」であります。思い

やりの心を持ち、皆様方のご協力をお願い申し上げます。

二十三年度定例総会

清田地区町内会連合会の「平成二十四年度定例総会」が四月二十一日(土)午前十時から清田区民センターで開催されました。(定数七十四人にに対し役



員・代議員の出席者六十六人、委任状六人)

席上、牧野晃会長が「昨年は一〇〇年に一度と云われるほどの大災害の年でした。東日本大震災には多くの人命が失われ、津波の破壊力の凄まじさ、さらに放射能汚染の恐ろしさも知らされ、〃人命尊重の心〃を後世に伝えて行かなければならないと強く感じました。清田区でも一昨年に直下型地震が発生しており災害は他人事ではありません。町連では去年から高齢者や障がいのある方々の支援体制作りを

進めて来ています。

また、独りで暮らす高齢者の孤独死を防ぐ〃見守り活動と日常支援〃に取り組んでいます。それには皆様の支援に対するご理解が必要です、ご協力をお願いいたします」と挨拶されました。続いて、真栄団地町内会の佐波哲雄さんを議長に選出し議事に入りました。そして二十三年度の事業と決算報告、二十四度の事業、一般会計、印刷機事業会計、五十周年(平二十七年)記念事業会計予算案が示され原案通り承認されました。

お願い

定例総会の議事内容について詳しくお知らせになりたい方は、町内会の役員か代議員、又は、まちづくりセンターにお問い合わせ下さい。

親子連れで 大にぎわい



十二月四日の日曜日、青少年育成部の恒例行事となった「親子もちつき大会」を真栄団地町内会館で開催しました。

当日は十二月上旬には珍しく早朝か

口大の大きさにされましたが、作業には子どもたちも参加、歓声をあげなが



お餅は一
来たての
した。出
開振りで
ほどの奮
顔になる
真つ赤な
みんな
た時には
きあがつ
挑戦、つ
ながら初
子が順番に重たい杵を何度も振り上げ

蒸して、いよいよ「もちつき」のスタートです。蒸しあがった「もち米」に親子が順番に重たい杵を何度も振り上げ

から用意
では前日
フロアー
が揃った
杵と臼
りました。



ら強い降雪に見舞われ、参加者の出足が心配されましたが、オープンの一時間前から続々とつめかけ会場は多くの親子連れで埋まりました。

ら初体験に取り組んでいました。
この後は楽しい試食。「雑煮、砂糖醤油づけ、きな粉餅」などが並べられ、参加者たちは口いっぱいにほおばりながら「つきたてのお餅がこんなに美味しいとは」とビックリした様子でした。
一番人気は「おろし大根のからみ餅」、二番は「きな粉餅」、あとは「あんこ、砂糖醤油、海苔」でした。
わずか、二時間の開催でしたが一六〇人を越える家族連れの参加をいただきありがとうございました。幸い事故もなく終了出来ました。皆様に心から感謝申し上げます。

(部長 田上 雄二)

二十三年度活動のテーマ

歴史を知る

十月二十一日、二十三人の女性陣が牧野会長とともに月形町の「樺戸集治監」(現在の樺戸博物館)を訪ねました。館内ではガイドさんから、当時(明治初頭)の囚人たちが如何に過酷な生活を強いられてきたか、それによって北海道の開拓、主に国道十二号をはじめとする主要幹線道路の開発が進められてきたかが語られました。



グマが出没する樺戸の山々、後方は原始のまの石狩川にはばまれ、生きて帰ることが出来なかった囚人たちの悲しみ、絶望

身も心も徹底的におとしめようという囚人たちに対する厳しさが伝わってくる話の内容でした。
囚人の中には西南戦争をはじめとした内乱による国事犯(政治犯)も大勢いたという事です。集治監の前方はヒ

つけたらそうです。さらに足首には鉄丸がつけたらそうです。
されたことから、あえて辱めを与えるために、このため「赤い人」と呼ばれたそうです。さらに足首には鉄丸がつけたらそうです。



感はどうなものだったのでしょうか、想像を絶します。

今、私たちがなにげなくドライブ出来る一本の道にも、こんな歴史があったのだと改めて思い、見つめ直した研修でした。
(佐々木康子)

子どもたちの強い味方

マックス君

最近、テレビニュースや新聞で目にする子どもたちの登下校中の交通事故。それは悲惨としか言い表せない悲劇として心に焼きついていきます。

真栄第四



町内会では子どもたちの安全を守るために、今日もボランティアの皆さんが通学路に立ち登下校を見守っています。その中に黄色の「交通安全パトロール」のベストを身につけた犬のマックス君が仲間に加わっています。

ご主人の池田和恵さんと一緒に現れ



ると「マックスお早う」と元気に子どもたちが集まって来るなどすっかり人気者になっています。「こんな大きなワンちゃんなのに怖くないの」と聞くと「全然!だってマックスはやさしいもの」「マックスはねえくかしこいんだよ」「かっこいい!!」など、次から次へとマックスをほめる言葉が飛び出しました。

子どもたちは代わるがわるリードを持たせてもらったあと、パトロールのマックスに見送られながら今日も仲良く学校へ向かいました。

「こうしてマックスと歩いていけるとね、知らない方とでも挨拶し合えるんですよ。子どもたちとも仲良くなれました。楽しみでやらせてもらっています」と愛犬とボランティアを続ける優しい池田さんの笑顔が印象的でした。

(佐々木康子)

地下鉄建設促進で

情報交換会

様々な分野で活躍する人たちの意見を聴き地下鉄東豊線建設促進に弾みをつけようと地下鉄建設促進期成会(事務局・清田地区町内会連合会)は三十日(金)区民センターで情報交換会を開催しました。



会場には期成会の役員、顧問の清田区選出議員(道議、市議)、ライオンズ・ロータリークラブ、商工会、災害防止協会の関係者ら二十五人が参加し地下鉄建設への向けての意見を話し合いました。

主な内容は左記の通りです。

○これまで二年ごとに各町連の持ちまわりだった期成会を固定化し(責任体制)根をおろした会として取り組むべき。

○区民の延伸に対する盛り上がりが見え、絶対条件だが現状では見えていない、区民が絶対必要という声・意思を表す空気作りを考えるべきだ。

○近隣の自治体も取り込んだ運動も必要ではないか。

○延伸を「まちづくり」とセットにして運動すべきだ。

○地下鉄が無いマイナス面なども考慮するなど、市に対して途切れることなく要望を繰り返す必要がある。

○運動によって市、道、国(制度の緩和など)への陳情も考えるべきだ。

延伸問題について 皆様の「意見」

「東豊線」清田区延伸への想い

有楽町内 M・N

地下鉄東豊線清田区延伸への願いは、現在まで市議会等で再三審議されて来ました。しかし努力空しく投資に対して収入が厳しいという事で退けられて来ました。

東豊線開業は一九九四年で、その後十八年もの長い間、私たち清田区民は



ただ黙って泣き寝入りの状態を余儀なくされて来たのではないのでしょうか?

現状や将来の事

を思うと私たちは「延伸への思いや訴え」が議会を動かして行く原動力となるよう、声を大にして叫び続けなければと思う次第です。

現状の地下鉄駅周辺は開通以来、店舗の増改築、マンションの建設などで街の発展に寄与しており、特に終着の福住駅周辺は新しい住みよい環境に変身して来ています。

そして何よりも札幌ドームの集客力は日ハム

やコンサドーレ、

その他イベントが

開催されるたびに

過熱気味と言われ

るほど膨れ上がっ



ています。

このように地下鉄は利便性、周辺の活性化などで相乗効果を出しています。

一方、清田方面（恵庭・千歳も含む）から札幌ドームや都心へ向かう足は不便を強いられ、吹雪や雨天など天候不順でもじっとバスを待ち続け、やっと辿り着く状態で母子や高齢者の弱者には厳しい状況が続いています。

清田区の魅力は「札幌国際大学」もあり、「白旗山」は国際的なスキー場として位置づけられています。また、その南は人々の心を癒やす「すすらん丘陵公園」「ふれあいの森」など緑あふれる地帯が存在しています。

さらに、里塚霊園、梅の名所で道内最大級の「平岡公園」、周辺には大型商業施設が建設されています。

このため清田区の人気も年ごと高まりニュータウンが誕生するなど人口も十一万七千弱に増えています。人口増は地下鉄の利用度を高めます。北国の公共交通機関として利便性の高い地下鉄を他の区と同様に清田区にも設置して欲しいと切に望んでいます。

札幌市に対しては発展性が著しい清田区の将来性を見越した都市計画を示してもらい、着実にその実現の方向に向け鋭意努力して欲しいと強く思っています。厳しい経済状況ですが清田区民も他の区民と同じ納税者である事を忘れること無く延伸に向け、心を傾け

て頂きたいと切に願っています。

「地下鉄延伸への要望」

里塚在住 K

一〇年前に清田区の住民となり、子育ての大部分を過ごしてまいりました。入居当時、近所にはお年寄りや卒業し就職間近の子を持つ家庭が多くありましたが、一〇年の間に数軒が引っ越して行きました。理由は高齢のため車の運転が無理となり、通院も地下鉄までバスの乗り継ぎで時間がかかり体力的に無理を感じて他区の地下鉄駅に近い所に移転したためです。



また、二世帯住宅で地下鉄までが遠く、都心への通勤が不便と駅近くのマンションに移転した若夫婦、それを機に都心近くに引越した同居の高齢の夫妻がありました。せっかく築いた近所付き合いも移転という現実には遭遇し寂しい思いがつのりました。

我家は四大家族で公共機関利用の通勤では出社が間に合わず全員がマイカーで通勤しなければならぬ状態が

続いています。現状は清田区を去った近所の人と同様な環境で将来を考えると不安が頭を過ぎります。

ここ数年、清田区の発展と共に大型ショッピングセンターの出現、そして若い世帯が増えています。子どもたちや高齢者が、このまま清田区の住民として住み続けて行けるような環境の整備、地下鉄の延伸を切に希望しています。

「地下鉄誘致に思う」

真栄第四町内会 T・S

札幌市の交通網整備は去年「創成川地下車道」「札幌駅～大通間地下歩道」が完成しました。続いて「路面電車の延伸」や「JR札幌新幹線」が話題になっています。



「清田地下延伸」が気になります。地下延伸が完了すれば、市の「中期計画」の中には見えませんが、長年の懸念事項です。

が誘致活動継続にあたり、住民目線から盛り上がりに関する要因を推察してみたい。

○生活環境から
周囲を緑豊かな丘陵に囲まれ、住宅

の傍を流れる厚別川の風情も格別。生活に直結するスーパーや病院、それにゴルフ場も近く住環境の快適さは他の地域に劣らないと実感します。

○交通事情について

以前、不動産関係者から「清田区は人気の高い地域です」と聞きました。その理由は「高速インターが近く交通の便が良いからです」との事でした。

国道・道道・羊ヶ丘通りなどの幹線に恵まれ新千歳空港にも近く、交通に不便を感じている人は少ないと思います。

こうした満足感が地下鉄への関心をソフトにしているかも知れません。地下鉄開通により利便性はさらに向上し、経済振興やまちづくりへの寄与も大いに期待されますが、採算の面などから開通時期は未だ不明です。

そこで誘



致活動と並行して「地域振興・まちづくり」の諸施策を先行実施してはどうでしょうか。高齢化も進む折り地下鉄竣工まで待つ理由はありません。区内の経済規模や人口増が地下鉄誘致を促進する効果につながると思います。

地下鉄東豊線の清田延伸に係わる

「地域社会 まちづくり講座」の受講について

美しが丘町内会

地下鉄東豊線の清田区延伸については、我が町内会の取組みとして去年一月に「署名活動」を行い、五百八十三名の署名を集めました。また、今年の二月二十八日に「地下鉄東豊線建設促進期成会」主催の「地下鉄延伸に係わる清田のまちづくり研修会」が開かれ、町内会から六名の役員が参加し、大学教授から「交通体系によるまちづくり」について学びました。



しかしながら、区民の悲願である清田区延伸を、札幌市に要望して行くためには、町内会会員を含む区民皆様のご協力と「まちづくり」のためのご理解

解が必要となります。

「まちづくり」のための法的な知識と地域社会のマネジメントを学ぶ講座が札幌学院大学大学院に設けられています。

受講を希望される方は総務部長（増田）までご連絡下さい。

電話 八八四一九一一三

清田地区
皆さんの
防災への意識・
心構えは…

「きよたまちづくり区民会議」が昨年の八月に清田区民を対象に実施した「防災アンケート」の結果が発表されています。

私たちが加盟している清田地区町内会連合会（十一町内会加盟）については左記の通りの結果となっています。

%はそれぞれの「問」に対する回答率

問一 災害が発生した場合、特に不安と思うことはどれですか。

- 一位…家族の損壊火災の発生 七十一%
- 二位…家族の安否確認 六〇%
- 三位…食料や飲料水の不足 四二%
- 四位…避難所生活 三五%

五位…今後の生活の見通し 三十一%

問二 あなたの家庭では、災害に備えてどのような対策をしていますか。

- 二一 家具の転倒・落下防止措置をしていますか。 はい 三〇% いいえ 六六%
- 二二 非常用食品・飲料水を日頃から準備していますか。 はい 三三% いいえ 六五%
- 二三 右質問で「はい」と回答した方は、何日分くらい準備していますか。 一位…三日 三九% 二位…二日 二一% 三位…一週間 一四% 四位…四〜六日 九% 五位…一週間〜三十日 三%
- 二四 非常持出品をすぐに持ち出せるよう準備していますか。 はい 三五% いいえ 六一%

- 二五 右質問で「はい」と回答した方は、どんな内容を準備していますか。



な内容を準備していますか。

- 一位…懐中電灯 七六%
- 二位…ラジオ 五八%
- 三位…飲料水 五二%
- 四位…タオル、下着、軍手等 四七%
- 五位…食料品 四三%
- 二六 避難場所や避難経路を知っていますか。 はい 四九% いいえ 四八%

えましよう。朝について

二七 災害が発生した時の連絡方法や集合場所などについて、家族で話し合いをしていますか。 はい 三五% いいえ 六十%

二八 自宅の耐震性の点検や補強をしていますか。 はい 一五% いいえ 七七%

問三 今後の災害対策として詳しく知りたいことは何ですか。

- 一位…最寄りの避難場所や避難経路 四六%
- 二位…具体的な非常持出品項目 三四%
- 三位…非常用食品・飲料水の準備内容 三二%
- 四位…家族や親せきであらかじめ確

認しておく
べき約束事

五位：家具の転
倒防止方法

一三%

問四 あなたの家
庭では、地域
で行われる避

難訓練等の防災活動に参加してい
ますか。

参加している 一〇%

参加していない 八六%

四一 右質問で「参加していない」
と回答した方は、参加していない
理由を教えてください。

一位：いつどこで行われるかわから
ない 六三%

二位：家事や仕事で忙しく参加でき
ない 四五%

三位：役立つとは思わない 二%

四位：関心がない 二%

個人それぞれが行うべきこと
で地域の防災活動は必要ないと
思う 二%

問五 もしも災害が発生し、同居以外
の方へ緊急に助けを求める必要が
ある場合、まず誰に助けを求めよ
うと思いますか。

一位：市内の友人や親せき 三七%

二位：隣人 三五%

三位：同じ町内会の顔見知り 一六%



四位：市外の友人や親せき 八%
五位：助けを求める人がいない 四%
問六 もし災害
が発生した
場合、地域
の方のため
にお手伝い
できると思
うことはあ
りますか。

一位：救出・
救護活動

二位：避難先への誘導

三位：初期消火活動

四位：避難所の運営

五位：手伝いはできないと思う

一八%

「区民会議」ではアンケートで詳し
く知りたいとリクエストが多かった。
「家庭での最低限の備え、災害時の
行動、避難場所」などを掲載したパン
フレット「わが家の防災計画」と「地
域の力」を制作し、五月下旬〜六月上
にかけて区民に配布しました。

「わが家の防災計画」

わが家の防災計画

わが家の防災計画とは、現在、各家庭や地域で白濁の
（計画）への備えが十分に行われていない状態を改善し、活動して
います。平成23年度は、このように活動を行いました。
このパンフレットは、アンケートで詳しく知りたいとされた
事項での最低限の備えや、災害時の行動、避難場所を確認する
ためのマップなどを掲載しています。各家庭をチェックし、ながら
災害への備えを確認し、「わが家の防災計画」づくりに協力して
いただければ幸いです。



きよたまちづくり区民会議事務局

清田区役所市民部地域振興課

代表 八八九―二四〇〇

私たちが住む地下は地震を発生させ
る断層が走っています。
直下型地震は予知が殆んど不可能、
更に震源が浅いため大災害になる要素

第一回清田区検定試験を実施

「い」存知ですか 清田区の「い」

清田区では他の区にさきがけて、三
月四日に市内十区の中では初めての
「区検定」を実施しました。

検定は、試験を通じて清田区の歴史、
文化、自然、更には清田区の事業など
を総合的に学んでいただき、清田区に
より関心をもって、まちづくりに積極
的に参加できるような人材の育成を目
指して行なわれました。

受験定員八十名に対し申込は清田区
外の応募者も含めて定員オーバーの九
十名になりましたが、特に六十代を中
心とした男性が多く、関心の高さを示
しました。年齢制限はなく、最年少は
七歳から最年長は八十三歳まで、老若
男女幅広い年齢層の人たちが、初めて
の清田区検定に参加しました。

試験時間は六十分、出題内容は、清
田区の歴史、地理、自然環境、清田区

を含んでいます。

少しでも被害を防ぐには、災害に対
する私たちの心構え、意識次第という
事になりそうです。

備えあれば患えなし



のまちづくり、および清田区の事業な
ど、これまでの清田区の発行物から二
十五問が出題され、百点満点で得点が
七十点以上で合格。

三月十六日に三十一名の合格者が発
表になり、

検定合格
証書と共
に記念品
が贈呈さ
れました。

受験者
の中でも
最高齢で
検定に挑
戦した男
性（八三
歳）は「清
田区に転

入して

から

清田区に

転入し

てから



キンボールの練習

清田体育振興会は昭和五十三年に設立され、これまで新しい種目を積極的に取り入れるなど、経験者のみならず、初心者でも気軽にスポーツが出来る場を提供、大人から子どもまで広く住民の健康づくりに

寄与しています。更に地域主催の行事へ積極的に協力しまちづく

りにも貢献しています。

こうした長年にわたる地域に

清田体育振興会(団体)が 札幌市民スポーツ賞受賞

居してまだ十年程ですが、当地区に係したボランティア活動をしています。自分の知識や能力を試すよい機会、だと思いい、検定を受けました。

幸い合格しましたが、今回の検定は一回目としては難しい印象を受けました。一月の応募時にテキストを配布されましたが、にわか勉強で全てを覚えるのは至難の業です。普段から何事にも関心をもち、知識を積み重ねていくことが大切ではないでしょうか。

検定を実施した清田区地域振興課では「初めての試みということで、問題

の作成も悩みながら行いました。

結果的に『完全解答』の設問が多かったことから厳しい面もありましたが、受験者からの意見も取り入れ、次の出題に活かしたい。また、時期等も気候の良い秋に変更するなど、区民の方に気軽に参加して頂けるように工夫して行きたいと思っています」とのこと。

次回検定の日程は、広報さつぽろ清田区版や清田区のホームページなどで発表される予定。清田区を知る良い機会になるので、是非皆さんも参加してみてはいかがでしょうか。

根付いた活動が認められ、札幌市のスポーツ振興の模範であり、その功績は大であるとして二月十三日に上田文雄市長から表彰されました。



清田体育振興会 役員

会長 住吉 誠一

副会長 古谷 俊晃

副会長 船迫 啓子

真栄ビクトリー快挙

北日本大会で 優勝



優勝

昨年の十月二十九、三十日の二日間に行われた、秋田県営スカイドームで「第八回北日本少年軟式野球選手権大会」が開催されました。大会にはわが町の少年野球チーム「真栄ビクトリー」が北海道の代表として参加し地域の人たちから温かい声援を受けました。



試合開始

ビクトリーは二十九日に

岩手県の代表を八対二で

破って初戦を

いよいよ、突破、続く二

回戦では青森県の代表を五

対〇で降し順

調に勝ち進み

ました。そして最終日に決勝戦で宮城

県の代表「ゆりが丘フェニックス」と対戦、ビクトリーは切れ目の無い打線・硬い守備で総合力を発揮して相手を寄せつけず七対〇の完封で初優勝、栄えある優勝旗と共に津軽海峡を渡る成果をあげました。

小林静雄監督は「子どもたちは本当

に良くやってくれました。これも皆さんの大きな協力のおかげと感謝しています。ありがとうございます」と話していました。昨年は立野歩佳キャプテンをはじめ選手たちの多くが小学校を卒業し退団してしまいましたが、現在は六年生のメンバーを中心

に練習に汗を流しています。

取材中、大きな声で「こんにちは」と声をかけてくれるナインの姿

が礼儀を大切に

にするスポーツ少年ならではのものと

感じました。

また、「野球大好き、楽しいよ」と満面の笑顔で気楽に話しながらも、一

方で監督やコーチの話を聞く眼差しは真剣そのもので心から野球を愛する少

年を印象づけていました。

今後もビクトリーの活躍に期待し練習場をあとにしました。

■真栄ビクトリーでは

団員を募集しています。

連絡先 小林 静雄

運営費 月額 二、五〇〇円

小学一年生から六年生まで男女は問いません。

(佐々木康子)



優勝旗授与(津軽海峡を渡ります)



△四月 交通安全街頭啓発

▷七月 清田区民まつり



△七月 こがもちゃんバス遠足

▷八月 清田区防災訓練



▷一月 新年交礼会



清田地区町内会連合会年間主要事業

年 月	事 業 名 ・ 内 容
平成24年4月	・ 清田地区町内会連合会総会(総務部) ・ 防犯パトロール、子どもを守る強化月間(防災・防犯部) ・ 春の交通安全街頭啓発(交通安全対策部)
5月	・ 清田区女性部連絡協議会総会(女性部)
6月	・ 不法投棄対策事業(一回目)(保健衛生部) ・ 役員一日研修(総務部) ・ 青少年育成委員会全体研修会(青少年育成部)
7月	・ 清田区民まつり(総務部・交通安全対策部・青少年育成部) ・ 第34回札幌市社会福祉大会(福祉厚生部) ・ 第13回パークゴルフ大会(体育部) ・ 連合会だより53号発行(広報部)
8月	・ 清田区防災訓練(防災・防犯部) ・ 清田区5町連地区対抗壮年野球大会(体育部) ・ 親子レク(青少年育成部)
9月	・ 秋の交通安全街頭啓発(交通安全対策部) ・ 厚別神社祭典見まわり(青少年育成部) ・ 第37回歩く運動(体育部) ・ 清田地区女性部長会議(女性部)
10月	・ 秋の地域安全運動道民集会(防災・防犯部) ・ 共同募金活動(福祉厚生部)
11月	・ まちづくりシンポジウム(防災・防犯部) ・ 大縄跳び大会(青少年育成部)
12月	・ 第3回保健衛生部会(保健衛生部) ・ 清田町連歳末防犯パトロール(防災・防犯部) ・ 親子餅つき大会(青少年育成部) ・ 1円玉募金取りまとめ(女性部)
平成25年1月	・ 地区新年交礼会(総務部) ・ 成人式(参加協力)(青少年育成部) ・ 連合会だより54号発行(広報部)
随 時	・ 子どもの見守り活動(防災・防犯部) ・ 防犯夜間パトロール(防災・防犯部)

清田地区社会福祉協議会(福祉のまち推進センター)年間主要事業

年 月	事 業 名 ・ 内 容
平成24年5月	・ 『清田地区社会福祉協議会』定期総会
7月	・ 「こがもちゃんバス遠足」実施
9月	・ 第9回 こがもちゃんミニオリンピック大会実施 ・ 福まち見学研修会実施
11月	・ 『友愛訪問』実施
12月	・ 第10回 福まちお楽しみ会実施
平成25年3月	・ 第12回 「ほほえみ交流会」実施



△三月 ほほえみ交流会

平成24年度 清田地区町内会連合会役員名簿

役 職 名	氏 名	所 属 町 内 会	備 考
顧 問	長 岡 武 夫	清田町内会	
	林 茂	清田町内会	
	紙 栄 吉	東真栄町内会	
会 長	牧 野 晃	真栄第四町内会	
副 会 長	清 野 廣 一	真栄団地町内会	真栄団地町内会会長 総務部長 兼任
	田 崎 克 典	真栄第三町内会	真栄第三町内会会長 福まち運営委員長 兼任
	松 原 宏 悦	清田有楽町内会	
監 事	畠 山 昇	新平岡町内会	
	土 田 輝 一	真栄団地町内会	真栄団地町内会副会長
総 務 部 長	清 野 廣 一	真栄団地町内会	
財 務 部 長	角 口 八 郎	東真栄町内会	
福祉厚生部長	大 滝 正	清田町内会	清田地区民児協副会長
保健衛生部長	西 海 利 一	真栄第二町内会	
防災・防犯部長	横 江 光 良	清田有楽町内会	
交通安全対策部長	本 間 亜 輝	新平岡町内会	新平岡町内会副会長
青少年育成部長	田 上 雄 二	真栄第一町内会	
女 性 部 長	茂 木 良 子	真栄第二町内会	
体 育 部 長	住 吉 誠 一	真栄第一町内会	清田体育振興会会長
広 報 部 長	小山田 義 信	真栄団地町内会	真栄団地町内会副会長
理 事	林 憲	清田町内会	清田町内会会長 清田地区 青少年育成委員会会長
	奥 貫 一 之	清田有楽町内会	清田有楽町内会会長
	野 村 正 己	新平岡町内会	新平岡町内会会長
	藤 本 石 雄	真栄第一町内会	真栄第一町内会会長
	氏 家 正	真栄第二町内会	真栄第二町内会会長
	齋 藤 卓 三	真栄第四町内会	真栄第四町内会会長
	小 林 秀 雄	東真栄町内会	東真栄町内会会長
	山 崎 道 広	美しが丘町内会	美しが丘町内会会長
	漆 館 勝 弘	有明町内会	有明町内会会長

お話を聞かせください 清田まちづくりセンター

皆さん、こんにちは。
清田まちづくりセンター所長の村椿と申します。前任の帯野に代わり、今年の4月に着任いたしました。みどり豊かで安らぎを感じるこの清田地区で、皆さんとともにまちづくりの事に携わることが出来ることを、大変楽しみに感じておりますので、どうぞよろし

くお付き合いください。
地域には、除雪、ゴミ、防災・防犯、環境保全、社会的弱者の見守りなど、たくさん課題がありますが、それらを解決するための地域活動はすべて「つながりづくり」の側面を持っています。そうした地域の絆を深める活動がしやすいように、町内会をはじめとするさまざまな団体・個人を支援し、横の結びつきを強める役割を私たち「まちづくりセンター」が担って行きたいと考えております。

「清田まちづくりセンター」には、私をはじめ女性2名の地域支援員が常勤しております。皆様と同じ目線で地域問題の解決に向けて動いて行きたいと考えておりますので、ぜひお気軽



編集後記

にお立ち寄りいただき、お話を聞かせ下さい。私たちも積極的に皆さんの活動の場にお邪魔してまいります。
(所長 村椿 浩基)

「防災アンケート」の結果を見て、避難場所や経路を知らない人が半数近くも占めている。防災対策が叫ばれてから久しいが、この現状をどう理解すればよいのか。更に、地域で行われている防災活動にはほとんどの人たちが参加していない。理由は半数以上が「いっどこで行なわれていないかわからない」と答えている。周知の方法に不備があるのか、連絡の書類を見過ぎてしまっているのか定かではない。災害という「相手」に対して知識を養う事が防災・減災の鍵になるのではないだろうか。家庭内でも「防災会議」を開き災害時の家族の対応を再点検して見えてはどうだろうか。
(小山田義信)

二十四年度の広報部員です(五十音順)

池田 敏夫 (真栄第一)

小山田 義信 (真栄団地)

小山 眞 (東真栄)

佐々木 康子 (真栄第四)

清水 芳洞 (真栄第三)

田中 清一 (美しが丘)

長屋 俊一 (真栄第二)

三原 武晴 (清田)

清水 延明 (エンブレム)

松原 宏悦 (清田有楽)

村椿 浩基 (まちづくりセンター)

編集協力